

第 2 回子ども・子育て会議計画素案に係る委員意見要旨及び計画案の修正箇所

(重複意見はまとめ・確認等の質疑は除く)

主な意見要旨	修正箇所等
第 2 章 妊娠・出産・子育て期の支援	
<ul style="list-style-type: none"> ・保健師等が相談員になられることが多いと思うが、体制の増員や、スタッフのスキルアップとそのため研修等も進めていっていただきたい。各区の相談室の拠点であるこども家庭支援室を中心にいろんな支援の関係団体とのネットワークを進めていくことが必要。 	<p>P 6「ワンストップ型の相談体制」に文言追加 P 9「施策一覧」に追加</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・医療の視点から、安心して産み育てる出発点となる「周産期医療体制」や子育て中の保護者の不安軽減を図るため「小児救急医療体制」を維持・推進することが重要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周産期医療体制については、保健医療計画を所管する県と課題共有し研究 ・小児救急医療体制の確保を、P 8「子育て世帯にやさしい環境づくり」に文言追加
第 3 章 特に支援が必要な子どもたち・家庭への支援	
<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止対策については、各々がそれぞれ推進していくというだけではなくて、具体的に学校や警察とどう連携をとっていくのか、どういうところを強化するのをもっと具体的にすべきではないか。 ・早期発見はすごく大事だと思っており、そこが防止につながるので、しっかり取り組んでいただきたい。 	<p>P 6 「児童虐待防止対策の推進」に文言追加</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・リービングケアからアフターケアに至るまで、子どもたちの出発点に立ち会う職員・人材が不足している。人材発掘や人材育成が非常に重要である。 ・社会的養育の領域における専門職の育成、確保及び定着について、しっかりと考えていただきたい。 	<p>P 6 「社会的養育支援の充実」に文言追加</p>

主な意見要旨	修正箇所等
<p data-bbox="236 309 957 347">第4章 地域における子育て支援・青少年の健全育成</p> <ul data-bbox="247 409 1125 638" style="list-style-type: none"> ・幼・保・小学校の連携だけでなく、児童館・学童との連携という観点が必要である。児童館・学童に携わる者としては、全部に関わらないと仕事はできない。 ・学童保育と学校との情報共有や連携を深める場づくりが必要である。 	<p data-bbox="1144 409 1394 584">P7 「新・放課後子ども総合プランの推進」に文言追加</p>
<p data-bbox="236 694 1069 732">第5章 幼児期の教育・保育の質の向上・小学校教育との連携</p> <ul data-bbox="247 795 1125 1167" style="list-style-type: none"> ・「教育」という言葉の理解が少し薄いのではないかと感じる。もう少し幼児期の教育というのは何たるものかということが具体的に分かるよう表現すべきだ。 ・幼児期の教育・保育は、園・施設のみが行うものではなく、家庭でも実施されるべきものである。幼児期の教育の中身について、もう少し保護者に理解をしてもらう必要がある。 ・保育者が様々な研修や実践で得たスキルを伸ばし共有していくことが必要である。 	<p data-bbox="1144 817 1394 1090">P8 「幼児教育の理解の推進」を追加 「幼児期の教育・保育の質の向上」に文言追加</p>
<p data-bbox="236 1223 861 1261">第6章 子育てしやすい社会環境づくりと啓発</p> <ul data-bbox="247 1301 1125 1525" style="list-style-type: none"> ・保護者は地域の中でつながり、主体的に子育てをしていく当事者となる。 ・保護者が子育て支援の当事者として、地域の子育て環境等をよくする活動に関われる取り組みも盛り込まれる必要があるのではないか。 	<p data-bbox="1144 1301 1394 1476">P8 「子育て世帯にやさしい環境づくり」に文言追加</p>